

◇現代史研究会・東欧史研究会・西洋近現代史研究会共催◇

■特別セッション

西洋史若手研究者問題を考える

——西洋史若手研究者問題検討ワーキンググループ報告書をめぐって

日時:2014年10月18日(土)15:00~18:00

会場:青山学院大学6号館1階 第4会議室

■コメント

1)大学院生・研究機関研究員報告書について.....上村敏郎氏(獨協大学)

2)専任教員・非常勤講師報告書について.....辻英史氏(法政大学)

3)女性研究者報告書について.....中田瑞穂氏(明治学院大学)

※各15~20分のコメント後に自由討論を行います。

■趣旨

2012年10月から12月にかけて西洋史若手研究者問題検討ワーキンググループはウェブ・アンケートを行いました。2013年3月に中間報告書が公表されましたが、続いて本年9月末に立場別の暫定的な報告書が公表されます。本セッションは、この新たに公表された報告書をもとに討論を行い、「西洋史」に関わる研究分野の課題を共有する機会を提供するものです。ご関心のある方は、ふるってご参加ください。

※案内チラシは以下よりダウンロードできます。

http://kingenken.web.fc2.com/kgk_201410.pdf

※9月末もしくは10月初旬に以下の西洋史若手研究者問題検討ワーキンググループHPに本セッションに関連する暫定版立場別報告書が公表されました。ぜひ事前にござい読みください。

<https://sites.google.com/site/futurehistoriansjp2012/home/zan-ding-ban-bao-gao-shu>

■参考文献

藤田祐「西洋史若手研究者問題をめぐる論点——ワーキンググループの活動から」『九州歴史科学』第41号、2013年12月、59-65頁

(http://researchmap.jp/?action=cv_download_main&upload_id=70203)

菊池信彦「若手研究者問題と大学図書館界——問題提起のために」『カレントアウェアネス』第315号、2013年3月、13-20頁(<http://current.ndl.go.jp/ca1790>)

崎山直樹「崩壊する大学と『若手研究者問題』——現状分析と展望」『歴史学研究』第876号、2011年2月、87-46頁(http://rekiken.jp/rekiken876_37to46_SakiyamaNaoki.pdf)

■その他

西洋近現代史研究会 4 月例会「日本西洋史学の未来——西洋史若手研究者問題検討ワーキンググループの活動から」於駒澤大学 246 会館、2013 年 4 月 20 日

(<http://togetter.com/li/491014>)

西洋史若手研究者問題アンケート調査報告会、於京都大学文学部、2013 年 5 月 12 日

(<http://togetter.com/li/501796>)

日本図書館研究会第 302 回研究例会「若手研究者の文献利用環境を巡る問題と図書館へのニーズ」
於キャンパスプラザ京都、2014 年 1 月 25 日 (<http://togetter.com/li/620712>)

■本セッションには、各研究会会員以外の方でもご自由に参加いただけます。

■会場までのアクセス

渋谷駅より徒歩 10 分、表参道駅より徒歩 5 分

<http://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/access.html>

※6号館は、正門から入り、まっすぐ進み、左手の大きな建物(17号館)をこえた辺りで、左に入って奥の建物です。

<http://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/aoyama.html>

■お問い合わせ

西洋近現代史研究会

kingenken[a]gmail.com

※[a]を@に置き換えてご連絡ください。